

様式

岡山県剣道連盟重大事故報告書(記載例)

セクション	内容	報告事項	報告内容
セクション1	報告者 プロフィール	メールアドレス	〇〇〇〇1234@docomo.ne.jp
		報告団体	〇〇市剣道連盟
		報告者氏名	岡山 太郎
セクション2	事故カテゴリー	事故カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> 頭部あるいは頸部などの打撲による障害（脳震盪を含む） <input type="checkbox"/> 突きによる喉頭部を含む障害あるいはそれに起因する二次的障害 <input type="checkbox"/> 竹刀の破損による眼外傷 <input type="checkbox"/> 熱中症（救急入院となった場合） <input type="checkbox"/> アキレス腱などを含む腱断裂（入院となった場合） <input type="checkbox"/> その他の理由で入院以上の処置が必要だった場合（稽古中・試合中の脳卒中、心筋梗塞、心停止などで入院ないしは死亡した場合を含む）
セクション3	事故発生日時・場所	発生日	2020/10/10
		発生時刻	10時30分
		発生場所・施設	〇〇体育館
		発生行事	審査
		発生行事詳細	〇〇地区段級審査会
セクション4	破傷者/発症者	年齢	14 歳
		性別	<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女
		称号	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 錬士 <input type="checkbox"/> 教士
		段位	初段
セクション5	事故概要	発生状況(事故概要)	審査会において、二段審査中に女子生徒が面を打ち、これに対して男子生徒が防御をしながら体当たりをし、相手の喉から前胸部にかけて強く押した。そのとたんに女子生徒は仰向けに転倒し、後頭部を強打し、失神した。
		発生原因	加害者が打突後に押したこと、しかもその押し方が喉から前胸部と高かったこと、などが原因と思われる。また、競技者の体力の違いも事故の発生に関与していた可能性も否定できない。
		受傷/発症状況	入院後には、すでに意識は回復していた。さらに、神経学的症状は認めず、CT検査及びMRI検査では脳挫傷、頭蓋骨骨折などの所見は認められず、脳震盪と診断された。
		対応状況	転倒後、直ちに審査を中止し、転倒した者の面を外し、横臥させた。しかし、意識がもうろうとしており、さらに吐き気も訴えたため救急車を要請した。救急車によって〇〇病院に緊急入院となった。
		救急車搬送	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
		入院	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
セクション6	保険	保険(内容、適用詳細)	審査会においてスポーツ障害保険に加入
		保険加入	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
		保険適用	<input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
セクション7	今後の対応	今後の対応・予防策	<ul style="list-style-type: none"> ・打突時の体当たりは、両手で喉から前胸部を押すのではなく、両手を下げて体ごと押すように正しく指導する。 ・段審査の場合には、体力の違いなどを考慮して組み合わせを検討する。 ・脳震盪に対する啓発活動を行う。
セクション8	備考・その他	備考・その他報告事項	